

第2回津山市水道事業経営審議会 議事要旨

【開催日時】 令和5年6月22日（木）13:30～15:30

【開催場所】 小田中浄水場 災害対応ステーション

【議題】

- (1) 津山市水道事業整備計画
- (2) 小田中浄水場現地見学

【意見・質疑等（要旨）】

（委員）

事業費の推移ですが、令和5年度以降年間14億円ということですが、令和9年までで、14億円というのは、クリアできて、令和10年から減るっていうふうに見えるんですが、これは、令和5年度以降、年間約14億円の事業費が必要なんですか。

（事務局）

事業費約14億円は、令和5年度から14年度の平均です。
また14年度以降、今回お見せしていないところでまた大きな山があります。

（委員）

経営が厳しい状況であることはわかるんですが、事業費の合計が175億、今の説明では令和5年からの10年で140億で35億の違いがあるということも伝えていかないとけない。

（事務局）

わかりました。

（委員）

国土強靱化で、国は予算を組んでいるが、前倒しで実施すると聞いている。国からの補助をうまく活用すること。水道関係も活用できる。

（事務局）

活用したいと思います。補助金についても期待している。

（委員）

配水管とか管路、耐用年数は40年というお話がありましたが、それを超えるのはどれくらいあるのかと、あと実際にどれぐらいの年数で使われるものなのか。

（事務局）

（6ページ）耐用年数を経過したのが今、全体として36.6%になっております。

ただし40年過ぎたからといってすぐ更新するわけではありません。管種によって60年、50年とか、それぞれ設定をして、更新の対応をしていくものでございます。

（委員）

21ページの事業実績と計画がどう動いているか比較できれば良かった。管路が増えた

のか。

(事務局)

設備・管路の両方です。設備は浄水場を含みます。

(委員)

(4ページ) この西下浄水場(勝北)、宮部下と坪井というのは久米町。これらは合併の時に、休止したということですか。

(事務局)

西下に関してはそのとおりで、旧久米町は、水質の関係でちょっと問題があるということで、全域を広域水道企業団の水に切り換えたというのが現在でございます。

(委員)

今も、建物、施設そのものはまだ残っているんですか。市はどのような予定でこの後の構想をもたれていますか。全部なくすか、もしかしたら復活する可能性も少しあるのか、その辺どうですか。

(事務局)

はい、建物として残っています。

今まだ具体的に決まってないですが、基本的に水質の問題でしたので、元に戻すということとは考えておりません。ただ一部設備は、使用しています。

(委員)

(5ページ) 加茂阿波の地域に関してはこれは今現在はいわゆる地下水を使ってるということですね。将来的に何かこう浄水につなげていくとかは。

(事務局)

クリプトスポリジウムというものの対策をなさいという指針が出ておりまして、何らかの形で浄水方法を追加しなさいと言われておりますので、対策をしていきたいと考えております。阿波は物理的に遠く、管路としては今のところ浄水につなぐ予定はございません。